（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	草加市子育て支援センター児童デイサービスセンター（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和７年２月３日		～	令和７年２月２１日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	142	（回答者数）	115
○従業者評価実施期間	令和７年２月３日		～	令和７年２月７日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	16
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年３月１８日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに関することについて、相談から医療、サービスの利用まで一貫して提供できる公共機関である。	他職種間で連携をとりながら療育に取り組んでいる。	相談、個別療育、集団療育を総合的に実施できるよう、さらに連携を図る。
2	保護者同伴での参加を設定している。	・子どもについて、職員と共有できるようにしている。 ・乳児グループではふれあい遊びを取り入れる等、親子あそびの紹介をしている。 ・療育の待機中に保護者同士で会話する等交流の場にもなり、また、専門職によるママタイム（相談、情報提供、交流を目的とした時間）を設定する等、保護者支援を行っている。	・共感しながら通所できるよう、保護者同伴の意図を伝えていく。 ・保護者同士が交流でき、また、職員との関係が構築されることで相談がしやすくなるように雰囲気づくりに取り組む。 ・課題活動やプログラムの意図、目的をわかりやすく伝える努力をしていく。
3	スタッフ間で連携し、療育に取り組んでいる。	療育の前後に必ず打ち合わせや振り返りの時間を設け、子どもの様子や情報の共有を図っている。	子どもたちが楽しく通えるように、一人ひとりのことを把握しながら活動を考え、内容の充実に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が少ない。	参加が保護者同伴で、乳児に関しては保護者同室で実施していることもあり、活動を通して子どもの様子を共有しながら保護者支援も行うことが主になっている。	一般市民向けの講座等を企画し、利用者も含めて交流できる場となるように活動を広げる。
2			
3			